

平成26年5月16日

国宝・重要文化財（建造物）の指定について

文化審議会（会長 ^{みやた りょうへい} 宮田 亮平）は、平成26年5月16日（金）に開催された同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、新たに2件の建造物（新規2件）を国宝に、9件の建造物（新規7件、追加2件）を重要文化財に指定することを文部科学大臣に答申しました。

この結果、近日中に行われる官報告示を経て、重要文化財（建造物）は、2,419件、4,676棟（うち国宝220件、268棟を含む。）となる予定です。

◎今回の答申における特筆すべきもの

【国宝】 ^{ほんがんじごえいどう} 本願寺御影堂、^{あみだどう} 本願寺阿弥陀堂 ^{しもぎょうく} 京都府京都市下京区

本願寺は、西本願寺と通称される浄土真宗本願寺派の本山で、^{がらん}伽藍中央に御影堂と阿弥陀堂が東面して並び建つ。^{しゅうそしんらん}宗祖親鸞の木像を安置する御影堂は、^{かんえい}寛永13年（1636）に建てられた現存最大級の木造建築物で広大な外陣と壮麗な内陣を持つ。阿弥陀堂は^{ほうれき}宝暦10年（1760）に建てられた^{あみだにょらい}阿弥陀如来像を安置する堂で、真宗本堂の完成形である。いずれも多数の門徒により支えられた真宗の信仰の象徴として、高い価値がある。

【重要文化財】 ^{こうべじょがくいん} 神戸女学院 ^{にしのみやし} 兵庫県西宮市

神戸女学院は、昭和8年に現在地へ移転新築された大学キャンパスの建築群で、ヴォーリズ建築事務所の設計による。台地の地勢や豊かな自然との調和をふまえた合理的なキャンパス計画により建物を配置し、各建物はスクラッチ・タイルやS字瓦などによりスパニッシュ・ミッション風に統一しつつ、機能による形態と細部意匠に変化をつけて個性を持たせており、意匠的に優れている。

<担当> 文化庁文化財部参事官（建造物担当）

参事官 村田 健一（内線 2790）

調査部門 上野 勝久、西岡 聡（内線 2793）

登録係 富田 文雄（内線 3160）

電話：03-5253-4111（代表）

03-6734-2792（直通）

【国宝 新指定の部】

①現存最大級の規模を誇る真宗本堂の頂点（近世以前／寺院）

本願寺御影堂 1棟

京都府京都市下京区

本願寺

本願寺は、下京区堀川通に面して位置する浄土真宗本願寺派の本山で、西本願寺と通称される。文永9年（1272）、親鸞の末娘覚信尼が東山大谷の地に親鸞の遺骨を改葬し、廟堂を建立したことにはじまり、室町時代には多数の門徒を抱える仏教集団に発展した。その後寺地を転々とした後、天正19年（1591）より現在の地で伽藍を整えた。境内の中心には御影堂と阿弥陀堂の両堂が東を向いて並ぶ。

宗祖親鸞の木像を安置する本願寺御影堂は、寛永13年（1636）に上棟した。平面は桁行62.1メートル、梁間48.3メートルで、江戸時代の建築として現存最大級の規模を誇る。外陣部は多数の門徒を収容するために441畳もの広さを有し、太い柱が林立して上部に虹梁を架け渡し、広大な内部空間を実現している。内陣まわりは金箔、彫刻欄間、障壁画、彩色等で荘厳している。建寄せ柱や軒支柱、多様な虹梁など、江戸時代前期における高度な架構や技法を駆使している。

本願寺御影堂は、小規模な道場から出発し広大な仏堂に到達した真宗本堂の頂点に位置づけられる建築である。多数の門徒により支えられ、社会に絶大な影響を及ぼした真宗本山の象徴として、文化史的に大きな意義を有している。



②江戸時代後期における大規模真宗本堂の完成形（近世以前／寺院）

本願寺阿弥陀堂 1棟

京都府京都市下京区

本願寺

本願寺阿弥陀堂は、本願寺の境内中央、御影堂の北に並んで建つ。御影堂と阿弥陀堂の間は、門徒用の渡廊下わたりのりょうかと僧侶用の喚鐘廊下かんしょうりょうかで接続されている。

本願寺阿弥陀堂は阿弥陀如来像あみだによらいを安置する堂で現在の建物は宝暦10年（1760）に建て替えられたものである。元和4年（1618）建立の旧堂きゆうどうに比較してはるかに大規模となった。

桁行45.2メートル、梁間42.1メートルの平面は、御影堂よりひとまわり小さいが、真宗寺院の阿弥陀堂及び本堂としては我が国最大級の規模であり、各地に数多く建てられた大規模真宗本堂の範はんとなった。

畳敷の広い外陣や金箔や彫刻、彩色等で荘厳された内陣など、御影堂と良く似た姿を持つが、左右対称の平面、柱位置の調整や架構の工夫、禅宗様をふんだんに摂取した造形など、より発展した技法を具備している。技術と意匠において優れた独創性を示しており、真宗本堂の完成形として極めて高い価値がある。

本願寺阿弥陀堂の建立により、御影堂と阿弥陀堂の壮大な両堂を並立させる本願寺の構えが完成し、渡廊下を介して両堂を多数の門徒が参拝する信仰形態が完成した。近世を通じて厚い信仰を受け続け、50年ごとの大遠忌だいおんきの度に伽藍を発展させてきた真宗寺院の様態をよく表しており、極めて深い文化史的意義を有している。



【重要文化財 新指定の部】

①都心に残された希少な大規模和風建築（近代／住居）

旧馬場家牛込邸 1棟

土地

東京都新宿区

国（最高裁判所）

旧馬場家牛込邸は、富山で海運業を営んだ馬場家の東京における拠点として、昭和3年に牛込台地の高台に建てられた。昭和22年以降は最高裁判所長官公邸となっている。

設計は通信省営繕技師であった吉田鉄郎である。南の庭園に面して和洋の客間や居間などを雁行形に連ね、和洋の意匠や空間の機能を巧妙な組合せと合理的な平面構成でまとめ、入母屋屋根や下屋庇を駆使した外観も絶妙に庭園と調和している。

旧馬場家牛込邸は、東京に残された希少な大規模和風建築である。洗練された比例や精緻な造形、装飾的な細部を押さえつつ上質の良材を効果的に演出した設計手法など、昭和初期を代表する和風建築として高い価値を有している。

○指定基準＝意匠的に優秀なもの



②アジアの建築様式を取り混ぜた煉瓦造建築（近代／商業・業務）

旧真宗信徒生命保険株式会社本館（本願寺伝道院） 1棟

京都府京都市下京区

本願寺

旧真宗信徒生命保険株式会社本館は、本願寺を大株主とする真宗信徒生命保険株式会社の新社屋として明治44年に建てられた。設計は東京帝国大学教授の伊東忠太である。

煉瓦造で外壁に煉瓦色の化粧タイルを張り、花崗岩の白帯を廻らせるなど英国風の様式を基

調とするが、玄関上部のインド風のドームや六角塔屋、中国風の高欄など随所にアジア大陸の意匠を大胆に取り入れている。さらに組物を載せた柱、窓上の人字形割束を模した造形など、随所に日本建築を解釈、再構築した細部意匠を加え、独創的な意匠となっている。

旧真宗信徒生命保険株式会社本館は、伊東忠太の建築進化論に基づく初期の代表作であり、我が国における建築様式の道程を体現した建築として価値が高い。

○指定基準＝意匠的に優秀なもの



③寺内町富田林の中樞を担い続ける寺院建築群（近世以前／寺院）

富田林興正寺別院 6棟

本堂、対面所、鐘楼、鼓楼、山門、御成門

大阪府富田林市

富田林興正寺別院

富田林興正寺別院は、重要伝統的建造物群保存地区である富田林市富田林寺内町の中央に境内を構える真宗寺院である。本堂は、寛永15年（1638）の建立で、近畿地方における最古級の真宗本堂である。古式な平面や構造と江戸時代初期の装飾細部を兼備しており、初期の真宗本堂の成立過程を知る上で価値がある。本堂北に対面所、境内東南には鐘楼、東北に鼓楼が建ち、山門と御成門を開く。



富田林興正寺別院は、本堂や対面所を中心に江戸時代末期に整えられた境内が良好に維持されており、富田林寺内町の歴史的景観に欠くことのできない存在として貴重である。
○指定基準＝歴史的価値の高いもの、流派的又は地方的特色において顕著なもの

④美的均整の追求と実用への配慮を達成した大学キャンパス建築群（近代／学校）

神戸女学院 12棟

総務館、講堂及び礼拝堂、図書館、文学館、

理学館、音楽館、体育館、葆光館、社交館、

ケンウッド館、エッジウッド館、汽罐室、

正門及び門衛舎

兵庫県西宮市

学校法人神戸女学院

神戸女学院は、明治初期にアメリカ婦人宣教師により開かれた私塾に始まるが、昭和8年に現在地に移転し、校舎を新築した。設計はヴォーリス建築事務所による。各建物は、スクラッチ・タイルやS字瓦などで外観をスパニッシュ・ミッション風に統一しながらも、機能的に求められた空間の独創的な構成や、微妙に変化に富む細部の造形で個性を持たせるなど、美的均整の追求と実用への配慮が十全に達成されており、意匠的に優れている。



提供：神戸女学院

神戸女学院は、女子高等教育の理念の具現を目指して、台地の地勢や豊かな自然との調和をふまえた合理的なキャンパス計画に基づき、平面計画も含めて完成度の高い統一感のある建物群で構成されており、昭和初期の学校建築として価値が高い。

○指定基準＝意匠的に優秀なもの

⑤ 独創的な三階建座敷と庭園を有する豪商の本宅（近代／住居）

はまぐち けいじゅうたく
濱口家住宅 9棟

おもや ほんざしき ぎよふうろう しんぐら ぶんこ みなみこめ
主屋、本座敷、御風楼、新蔵、文庫、南米
蔵、北米蔵、大工部屋、左官部屋、土地

あり だくんひろがわらよう
和歌山県有田郡広川町

とうひんしよくりん
東濱植林株式会社、広川町

濱口家住宅は、江戸で醤油問屋を営んだ地元を代表する豪商の本宅である。広大な屋敷地には江戸時代に遡る主屋、本座敷のほか、明治中期の敷地拡張とともに建てられた土蔵群、明治42年頃につくられた御風楼と庭園が残る。この御風楼は、明治末期の経済人の趣味を反映した大規模で上質な和風建築であり、平面構成、内部意匠、細部造作ともに独創性に富んでおり、価値が高い。



濱口家住宅は、近世から明治に至る屋敷構えが一体で残り、地域を代表する商家の近世から近代に至る発展過程を示すものとして重要な意義を有している。

○指定基準＝意匠的に優秀なもの、流派的又は地方的特色において顕著なもの

⑥ 建築様式の受容と進展を示す黄檗宗の寺院建築（近世以前／寺院）

しょうふくじ
聖福寺 4棟

だいゆうほうでん てんのうでん しょうろう さんもん
大雄宝殿、天王殿、鐘楼、山門

長崎県長崎市

聖福寺

聖福寺は、長崎市街北辺の山麓に所在する黄檗宗の禅宗寺院である。境内奥に建つ大雄宝殿と前面の天王殿を軸として、鐘楼や方丈などの殿堂で中庭を囲むという禅宗寺院特有の伽藍配置をよく継承している。



大雄宝殿は元禄10年（1697）建築で、前面を吹放して黄檗天井をあらわすなど、随所に黄檗宗寺院の建築様式の特徴を有している。天王殿、鐘楼、山門も同様の特徴を具備しつつ、平面形式や架構、細部意匠に独自の工夫が発揮されており、価値が高い。

伽藍の造営には地元長崎と堺の大工が造営に携わっているが、同じ長崎の崇福寺などとは造形に差異が認められ、我が国の黄檗宗寺院における建築様式の受容と進展を理解する上で、深い意義を有している。

○指定基準＝歴史的価値の高いもの、流派的又は地方的特色において顕著なもの

⑦ 絶景の地に建てられた近代鉱山主の別邸（近代／住居）

旧成清家日出別邸 5棟

主屋、東離れ、北離れ、土蔵、正門、

土地

大分県速見郡日出町

日出町

旧成清家日出別邸は、馬上金山の経営で財をなした実業家成清博愛が、経営の拠点として別府湾を望む景勝地に建築した別邸である。主屋は大正4年頃の竣工で、大正5年には現在の屋敷構えがおおむね整えられた。



提供：日出町教育委員会

主屋は大勢の来客を接待するための大型の広間を持ち、生活のための書斎部と家政部それぞれを海に向けて配し、景観を活かした配置とする。全体を堅実な和風の意匠でまとめているが、外観には入母屋造を多用して巧妙な階調をつくり、内部は良材による精緻な造作で格調の高い空間を達成するなど、意匠的に優れている。

土蔵や正門などの附属施設や大規模な庭園も、近代における雄大な別邸の有り様を示すものとして高い価値を有している。

○指定基準＝意匠的に優秀なもの

【重要文化財 追加指定の部】

①技巧を凝らした造形と意匠に富んだ寺院建築群（近世以前／寺院）

聖衆来迎寺 3棟

本堂, 開山堂, 表門

滋賀県大津市

聖衆来迎寺

聖衆来迎寺は比叡山の東麓に所在する天台宗寺院である。中央に本堂が南面し、本堂西に既定の客殿、南西に開山堂を配し、東に表門を開く。いずれも質の高い近世建築で、近世前期に実現された建築群構成をよく保持しており、既指定の客殿とともに保存を図る。



提供：滋賀県教育委員会

特に本堂は寛文5年（1665）の建立で、伝統的な構成を継承しながらも、凸字形の内陣を基軸とした空間が技巧を凝らした架構で達成され、彫刻や彩色などによって濃密な意匠にまとめられており、天台宗本堂における近世的変容の萌芽を示している点で価値が高い。

○指定基準＝意匠的に優秀なもの

②真宗本山の表構えを構成する規模雄大な建築群（近世以前／寺院）

本願寺 6棟

経蔵, 手水所, 鼓楼, 御影堂門,

阿弥陀堂門, 総門

京都府京都市下京区

本願寺

本願寺は浄土真宗本願寺派の本山で、西本願寺と称し、通りに面して御影堂門と阿弥陀堂門を構え、経蔵、手水所、鼓楼などが建ち並ぶ。



巨大な輪蔵を有する経蔵は延宝5年（1677）の建築で、内部の腰まわりには色鮮やかな有田焼の瓦を張る。御影堂門、阿弥陀堂門は大規模な四脚門で、独特の組物構成を持ち、彫刻や鍔金具などで装飾されている。本願寺の表構えを構成するこれらの建築群は、いずれも規模雄大で質が高く、それぞれ各時期の優れた意匠と技術が結集されており、江戸時代を通じて発展した真宗本山の格式に相応しい充実した建築として価値が高い。近世京都の都市景観を知る上でも重要な存在であり、既指定の鐘楼とともに保存を図る。

○指定基準＝意匠的に優秀なもの

〈個別解説凡例〉

番号 特徴 (年代区分／種類別)

名称 員数

複数棟指定の場合の建造物の名称, 土地* 等

所在地

所有者

〈国宝・重要文化財の指定件数〉

(*建造物と一体をなして価値を形成している土地をあわせて指定するもの。)

平成 26 年 5 月 答申

(国 宝)

| | 種 類 別 | 現在指定数 | | 新規指定 | | 合計 | |
|---------|----------|-------|-----|------|----|-----|-----|
| | | 件数 | 棟数 | 件数 | 棟数 | 件数 | 棟数 |
| 近世以前の分類 | 神社 | 39 | 65 | | | 39 | 65 |
| | 寺院 | 153 | 161 | 2 | 2 | 155 | 163 |
| | 城郭 | 8 | 16 | | | 8 | 16 |
| | 住宅 | 14 | 20 | | | 14 | 20 |
| | 民家 | 0 | 0 | | | 0 | 0 |
| | その他 | 3 | 3 | | | 3 | 3 |
| | 小計 | 217 | 265 | 2 | 2 | 219 | 267 |
| 近代の分類 | 宗教 | 0 | 0 | | | 0 | 0 |
| | 住居 | 1 | 1 | | | 1 | 1 |
| | 学校 | 0 | 0 | | | 0 | 0 |
| | 文化施設 | 0 | 0 | | | 0 | 0 |
| | 官公庁舎 | 0 | 0 | | | 0 | 0 |
| | 商業・業務 | 0 | 0 | | | 0 | 0 |
| | 産業・交通・土木 | 0 | 0 | | | 0 | 0 |
| | その他 | 0 | 0 | | | 0 | 0 |
| | 小計 | 1 | 1 | | | 1 | 1 |
| 合 計 | | 218 | 266 | 2 | 2 | 220 | 268 |

(重要文化財)

| | 種 類 別 | 現在指定数 | | 新規指定 | | 追加指定 | 合計 | |
|---------|----------|-------|-------|------|----|------|-------|-------|
| | | 件数 | 棟数 | 件数 | 棟数 | 棟数 | 件数 | 棟数 |
| 近世以前の分類 | 神社 | 567 | 1,201 | | | | 567 | 1,201 |
| | 寺院 | 853 | 1,150 | 2 | 10 | 9 | 855 | 1,169 |
| | 城郭 | 53 | 235 | | | | 53 | 235 |
| | 住宅 | 95 | 153 | | | | 95 | 153 |
| | 民家 | 351 | 847 | | | | 351 | 847 |
| | その他 | 193 | 261 | | | | 193 | 261 |
| | 小計 | 2,112 | 3,847 | 2 | 10 | 9 | 2,114 | 3,866 |
| 近代の分類 | 宗教 | 25 | 32 | | | | 25 | 32 |
| | 住居 | 81 | 307 | 3 | 15 | | 84 | 322 |
| | 学校 | 40 | 68 | 1 | 12 | | 41 | 80 |
| | 文化施設 | 35 | 60 | | | | 35 | 60 |
| | 官公庁舎 | 23 | 28 | | | | 23 | 28 |
| | 商業・業務 | 20 | 27 | 1 | 1 | | 21 | 28 |
| | 産業・交通・土木 | 71 | 243 | | | | 71 | 243 |
| | その他 | 5 | 17 | | | | 5 | 17 |
| | 小計 | 300 | 782 | 5 | 28 | 0 | 305 | 810 |
| 合 計 | | 2,412 | 4,629 | 7 | 38 | 9 | 2,419 | 4,676 |